

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(4) 社会人			
施策の方向性	仕事や子育て等、ライフステージに応じて読書に親しめるよう、市民のニーズを把握し、様々な本との出会いの場を提供するとともに、日常生活における課題解決等に役立てられるよう支援します。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②生涯学習の促進			
成果指標	読書が好きな人の割合	策定時点	目標値(R9)	
		79.6%	82.0%	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	パスファインダーの発行	発行したジャンル数	-	-
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	<p>◆まどかぴあ図書館では、読書推進のため、お楽しみ袋を企画し、普段手に取らない本に触れる機会を提供した。また、工作イベント「紙のどうぶつえん」では筑紫中央高校からボランティアを募り、3名の参加を得た。今後も読書推進につながる企画を立案するとともに、ボランティア募集を継続してYA世代の参加を促していく。</p> <p>◆ふるさと館において、蔵書検索サービス(総閲覧数17,596回)と常駐スタッフにより図書利用をサポートした。また、大河ドラマ連動イベントなど(5,869名参加)を通じ、来館者に読書のきっかけを提供した。今後は、情報検索システムを更新するとともに、大野城市の歴史・文化のほか、特別展・講座・講演会などのテーマに応じた図書の周知を強化することで、図書の利用促進を図っていく。</p>		②期待どおり	
	②生涯学習の促進		達成状況	
	<p>◆まどかぴあ図書館において、パスファインダーの令和7年度春の発行を目指し、作成の方針とフォーマットを決定して作業を開始した。完成後はしらべものカウンター付近に設置する計画であり、準備を進めていく。</p> <p>◆ふるさとラボにおいて、目加田文庫や郷土資料といった専門性の高い図書を配架し、常駐スタッフが市民の学習を支援した。貴重資料の特別利用による成果が論文として公表されるなど実績があり、今後も市民の歴史・文化学習への意欲向上に向けた取り組みを継続する。</p>		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。			

検討が 必要な事項	◆なし。
A 改善	
改善結果	